

# 社会・国際奉仕委員長セミナー 2024.11.16

## グループディスカッションまとめ

### Aグループ ファシリテーター：田中重光

参加者9名の、各クラブにおいての奉仕活動を話してもらい、それに対し質問や意見を交わしました。

横須賀RC：次年度ネパールで給水支援をする予定。その村は往復2時間かけて川へ水を汲みに行くという。衛生的にも問題があるとのこと。ネパールのロータリークラブと協力しグローバル補助金も活用し安全な水の給水設備を設置予定。横須賀RCにはネパール人の会員もいて現地との話し合いもスムーズである。

相模原RC：市内に小学校が76校あり毎年順番に10校ずつ位ドローンの操縦体験授業を行っている。小学校での活動は色々ハードルがあり校長先生やPTAのつてをたどるなどしてクリアしなくてはいけないことがあった。今度は国際奉仕にも取り組んでみたい。

綾瀬RC：国際奉仕活動として10年前位に、地区補助金を使いスリランカで盲学校の支援を行おうとしたことがあった。不幸にもスリランカでクーデターが起こり実現できずに補助金をどうすればいいか苦労したことがあった。ここ数年は小学生を対象としたトスボール大会を開催している。

鎌倉RC：女子高生にキャリア講演会を予定している。少年野球の支援もしているが、アメリカの少年野球チームは公的支援がものすごくギャップを感じた。

茅ヶ崎RC：小学生のラグビースクールを対象とした大会を開催。また、会員がお寺で行っている子ども食堂の支援（人的、資金的にも）国際奉仕は姉妹クラブの姉妹クラブであるフィリピンのクラブと模索中。

小田原城北RC：小学生のラグビー大会を前年度より行っていて、今年度も行う。プロ選手のトークショーもあったのでラグビー愛好者にはとても盛況であった。次年度は補助金も活用して行いたい。

藤沢RC：カンボジアでの歯科検診を歯医者会の会員が中心となって10年以上続けていて、毎年多くの会員も現地へ行き参加している。他にもバスケットボールの大会もしている。ここ数年はその年度、年度で新しい奉仕活動を考え実践している。

大和RC：市内小学生の絵画コンクールを6年前から開催している。奉仕活動を多くのクラブ会員が関わって行えるようにしたい。

### Bグループ ファシリテーター：山口道孝

- ・ 3つのプレゼンテーションを聞いて、それぞれとても評価できる良いプロジェクトだと感じた。
- ・ 鎌倉中央RCのプロジェクトが、とても丁寧に時間をかけて準備されていたことに感銘を受けた。
- ・ 地元で根ざした地道な活動を、これからも実施していきたい。
- ・ 国際的な事業への取り組みは、経験もなく頭がない。
- ・ これまで実施してきた活動は、どれも数十年単位で継続しているため止められない。
- ・ 国内でできる国際奉仕に挑戦したい。

・ 行政機関、中でも市町村の文化交流、国際交流協会等から情報を得て、活動の可能性を探りたい。

・  
クラブ設立75周年、50周年、30周年などの節目に、国際奉仕事業、特にグローバルに挑戦できればクラブにとって意義深い。

・  
ロータリーの役割は、本来、行政ができない分野、やり難い分野での奉仕のはずであるが、そうした活動に取り組もうとする会員はほぼ皆無である。

・  
嘗て、海外のクラブと姉妹関係にあったが、現在の世界状況や日本の経済、あるいはコロナによって継続が困難になり、また既に姉妹関係を解約したクラブは少なくない。

・ 正式な姉妹クラブの契約を交わさず、5年スパン程度で友好関係を持つのも一つの考え方である。

・ これまでの歩みを厳しく評価し、スクラップ アンド ビルドする段階にきているクラブは多いと感じる。

## Cグループ ファシリテーター：神朔理紅

概要；各クラブの社会奉仕委員長が集まり、活動事例や課題、解決策を共有する場として開催された。特に、活動の継続性、会員の負担軽減、地域との連携、そして新たな事業の創出についてのディスカッションが行われた。

### ■ 各クラブの事例と課題・ソリューション

#### 藤沢南ロータリークラブ

辻堂ビーチハウス(辻堂海岸の海の家)で、辻堂海岸周辺の小学生(3-6年生)を対象として環境に関する事業を開催(海の家で絵を描こう)

#### ①内容:

コロナ禍で始めた事業。子供たちの閉塞感を解消するため、ビーチで絵を描くことを企画したが、初期の段階で協力を依頼した美化財団から熱中症対策や安全確保のため「屋内開催」を提案され、協力を得られなかったので、別の団体と連携して実現させた。絵を描くだけでなく砂浜でのマイクロプラスチックのゴミ拾いも実施。

#### ②課題:

- ・ 熱中症対策(夏場の7月早期開催の必要性)。
- ・ 安全確保への対応。

#### ③ソリューション:

- ・ 民間団体に協力を依頼。
- ・ 氷や飲み物の提供、炎天下での短時間活動により対応。

#### 伊勢原ロータリークラブ

WCI(ワールドキャンパス伊勢原)と協力し、地域住民や海外ゲストが参加する「日本の夏祭り」を開催。国際交流を通じて多文化理解を促進。

#### ①内容:

市内飲食店駐車場を会場に、「日本の夏祭り」をテーマとした国際交流イベントを実施。WCIと協力

し、世界10カ国から31名のゲストを招き、飲食ブースや藍染体験、大山コマ作りなどを通じて日本文化を体験してもらった。ホストファミリーや地域住民、青年会議所、ボランティアら約300名が参加し、イベントの最後には全員で盆踊りを踊り、交流を深めた。次世代への国際意識の醸成を目的に、地域全体で多文化理解を深める場となった。

② 課題:

- ・ 活動が毎年同じ形式になりがちで、マンネリ化の懸念がある。
- ・ 規模拡大に伴い、安全性の確保が必要となる。

③ ソリューション:

- ・ 毎年少しずつ新しい要素を取り入れるなど、活動内容に変化を加える。
- ・ 地域住民や関連団体と連携し、参加者の安全を第一に考えた運営体制を整備する。

**Dグループ ファシリテーター：古谷田紀夫**

参加者：（ガバナー補佐）（当委員）（藤沢南/国際奉仕）（相模原橋本/SAA）（座間/奉仕プロ副委員長）  
（足柄/幹事）（相模原柴胡/会長）（地区副幹事） 以上8名

GD：最初に自己紹介を兼ねて各クラブより今セミナー前に提出された「奉仕プロジェクト一覧」（24/10/30現在）についての補足説明を行った。その後、各クラブについての相互質問などを行い、理解に努めた。

最後に、ロータリーマジックに向けての取り組みや将来計画について披露していただきました。

以下に各クラブの概要（一部抜粋）及び委員会への質問を記載いたします。

（藤沢南…）小学生対象に辻堂ビーチハウスの壁を利用し、ペイント行為を行うと共に海のごみ問題について啓発活動を行った。

（相模原橋本）犯罪や交通事故により命を奪われてしまった家族の協力により「生命のメッセージ展」を開催した。

国際奉仕としてアマダと協力し、ホンジョラスへの支援を行っている。今後は、カンボジアへの支援を考えている。社会奉仕として市内学校図書室への書籍寄贈を行っている。当クラブは、設立11年目であるが、会員数も増加傾向にあり、現在77名となっており、スマイルも年200万円を超える金額が集まる。

（座間）小学生を対象に「市内クリーンハイク」を実施。また、ごみになっているおもちゃや服などを利用したファッションショーなどを行い、資源の大切さなどを啓発した。

（足柄）青少年奉仕と共同して、小学生を対象に、ブナの植林を行うと共に、水資源の大切さを学び、自然保護につなげている。

（相模原柴胡）ひとり親、非課税世帯の親子や児童養護施設の子供たちに、着物文化を通じて、日本文化の再認識を行う活動を実施した。

以上のように各クラブより報告があり、小学生など若い世代への啓発活動を通じて、より良い社会地域づくりを進めていく活動が多く報告された。また、相模原橋本クラブのように、奉仕活動を進めるにあたり地域の諸団体より課題を提出していただき、クラブとして取り組みように考えていると報告がありました

委員会への質問： ①ロータリーマジック賞について、誰が賞を決めていくのか？

①については、これから委員会にてガバナーをまじえて協議していくことになりますと答えておきました

②リソースネットワークについて、登録には自薦なのか他薦なのか？

②については、自薦でも他薦でのどちらでも可能であることと、各クラブが行っている国際奉仕にて、専門

知識や技術をお持ちの人や団体があるようですので、リソースネットワークへの登録をお願いしますと話しておき

ました。

### **Eグループ ファシリテーター：栗原和子**

- ・旧来の伝統があり新たなチャレンジが難しいが、新たな奉仕にチャレンジしたい。
- ・市民にインパクトのある奉仕活動をしていきたい。
- ・グローバル補助金を使ってやってみたい。
- ・国内でもできる国際奉仕があることを知った。
- ・コロナの影響を受け、計画どおり進まなかった。
- ・継続事業を毎年行っている。
- ・他クラブ合同で始めた事業がある。
- ・クラブ内の高齢化で新しいことが出来ない。
- ・地元のNPOと共同で障害者二十歳の集いを開催した。
- ・海外で国際奉仕をやってみたい。
- ・町から依頼で中学生に対し、心肺蘇生研修を毎年行っている。
- ・伊勢原市3つのクラブで行うエンドポリオと薬物乱用防止キャンペーンは長年継続している。

### **Fグループ ファシリテーター：外谷正人**

① 今年度の自クラブでの社会奉仕、国際奉仕についてどうでしたか？

- ・ 既に事業が終わっているがこれから始める事業についてはグローバル補助金を活用しての大きな事業が来年には行ってから行う予定。
- ・ 奉仕事業に関して、クラブでの考え方が全く古く全然クラブで纏まらないので新しい事業が出来ない状態が続いている。
- ・ 会員が年々歳をとって行くので事業自体が出来なくなってきたので心配。
- ・ 継続している事業なのでなかなか止められないので困っている。
- ・

新しい事業をした所、街を絡めて行い皆が大変喜んで頂きました、街も綺麗になって地域の方々にも喜んでもらっ

② これから自クラブでどんな奉仕事業をやって行きたいですか？

- ・ 地域の小学生低学年への絵画コンクールをWEBを利用して世界の小学生低学年の子供たちにも参加出来る様なコンクールにしたい。
- ・ お金を掛けない、国際奉仕事業に取り組んでみたい。

時間が足りなくてあまり意見が聞けなかったのですが、全員が発言してくれたので結構いい意見が聞けました。

### **Gグループ ファシリテーター：三富正規**

◇お寺の集会場を会場としてチャリティコンサートを開催。このコンサートの目的は毎年国内外で起きる被災地、被災者への援助金の捻出。当クラブの関係者、第1地グループの各ロータリークラブ会員、地元高齢者施設の方々、お寺の檀家さん、地域のボランティアの方々、三浦学苑のインターアクトクラブ会員等約150名から200名ほど参加。コンサートを通じてロータリー活動のPR。クラブは15名の会員で活動。全員が一致団結して地道な活動を行っている。優しい気持ちを皆さんと共有。

◇「キャリア講演会」事業を開催。目的は北鎌倉女子学園の生徒たちに多様なキャリアパスを紹介し、将来の職業選択に役立つ情報とインスピレーションを提供。フォローアップとして参加者に対して講演会の感想や改善点を尋ねるアンケートを実施。次回へ反映し講演会の内容や運営方法を改善して。

◇横浜訓盲学院盲の子供たちを海とバーベキューに招待。目的は子供たちの個性を大切にせる教育を厳しい環境の中で奮闘する学院の先生方やご家族、そして子供たちを応援。会員以外はボランティアとして明治大学ポートセーリング部員参加。重度障害者の方々にとどのような企画が喜んでもらえるか打ち合わせを重ねた。当日は大きな反響と多くの感謝の言葉や部員からも子供たちからエールをもらう。保護者からは感激して涙が止まらないほど感激したとの感想。安全対策には十分配慮した。

◇地元の学校と協力しながら「花壇の植え替えプロジェクト」を実施。生徒たちと共に季節ごとに花壇を植え替え、美しい花を通じて地域に彩りを添える。活動を通じて地域との絆を深め、クラブメンバーが率先して、持続可能な社会を目指し未来を支えるために活動を続け、地元の学校との協力をさらに強化することでロータリーのマジックを会員が体験する。

◇本邦NGO「AMDA社会開発機構」と協力し、マダガスカル村落に住む100世帯の零細農家を対象に新しい養鶏方法の導入を支援。支援を通し電気や水道がない厳しい環境下で養鶏を成功。目的は子どもの健康と健康維持改善。受益者自身が建てた小屋の中で、改良された給餌方法を実践。一般的な放し飼いと比較し、成長と再生産の促進、市場価値の高い卵の生産。受益者は養鶏小屋の自前建設、5歳以下の子ども、技術研修への参加。子どもの健康が維持改善されるマジックを目指す。

◇5年前にフィリピンで水道施設の敷設事業を実施。経過観察として定期的にモニタリングをしている。目的は困っている近隣住民の為に安全で安心して飲める水を供給。現地のロータリークラブに調査を依頼。市からの水道水の供給は施設自体が貧弱で全ての村人には届いておらず、井戸を掘るも岩盤は堅く、深く掘ることができないため水質が悪く死者も出ている状況との報告を受ける。現地確認を実施し協議をした結果、既存施設に新たにタンクを増設し水を供給。地区補助金によるプロジェクト。秦野名水ロータリークラブと共同で、困っている近隣住民（200世帯 約800人）の為に、安全で安心して飲める水を供給する。

◇国際奉仕は継続が難しい。現地に引き受けるRCや団体/個人が必要。10数年前にネパールに学校建設。卒業生も300名以上。24年5月会員6人で訪問し交流を深めた。